

北薩感染症情報

2024年第30週(7月22日~7月28日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	—	4	0.57	↗	—	26	9	1.80	↓	—	
	COVID-19	—	—	—	194	143	20.43	↓	—	221	134	26.80	↓	—	
小児科定点	RS	—	—	—	20	12	3.00	↓	—	26	26	8.67	→	—	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	—	6	1.50	↗	—	3	—	—	↓	—	
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	5	4	1.00	↓	—	16	8	2.67	↓	—	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	11	13	3.25	↗	—	9	4	1.33	↓	—	
	水痘	2.0	1.0	1.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	手足口病	5.0	2.0	—	35	27	6.75	↓	◎	17	17	5.67	→	◎	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	突発性発疹	—	—	—	—	1	0.25	↗	—	2	1	0.33	↓	—	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	7	18	4.50	↗	—	5	2	0.67	↓	—	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	/	/	/	→	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	3	2	2.00	↓	—	/	/	/	→	/	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	1	1.00	↗	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—		
指定医療機関からの COVID-19入院報告	—	—	—	1	—	—	↓	—	9	18	—	↗	—		
報告数合計	—	—	—	276	230	—	↓	/	334	220	—	↓	/		

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 手足口病(警報レベル)
- ・出水保健所管内 手足口病(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 結核1例
- ・出水保健所管内 レジオネラ症1例

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

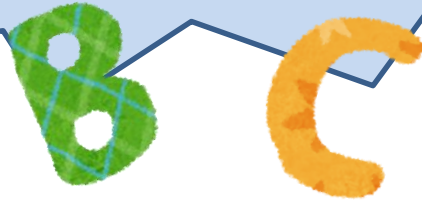
- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				21W	22W	23W	24W	25W	26W	27W	28W	29W	30W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	3000/1000	10.00	1.00	0.43	1.29	0.57	0.14	—	—	0.29	—	0.57
	COVID-19	—	—	1.57	2.86	8.00	10.43	8.71	13.29	18.29	38.43	27.71	20.43
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.75	1.50	2.75	3.00	3.50	10.00	8.00	11.75	5.00	3.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	2.50	2.75	2.00	2.25	2.50	1.00	—	1.50	—	1.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	7.75	2.50	3.00	4.00	1.75	1.75	1.50	3.00	1.25	1.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	5.75	3.50	2.75	4.25	5.50	3.50	5.00	4.00	2.75	3.25
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	0.50	1.00	0.25	1.25	—	1.25	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	16.25	9.25	8.25	8.00	6.75	8.25	12.00	10.50	8.75	6.75
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.75	0.25	0.50	0.50	0.25	0.25	0.50	—	—	0.25
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	0.75	0.25	0.25	0.50	0.25	3.00	5.00	1.75	4.50
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	6.00	5.00	5.00	2.00	6.00	—	4.00	—	3.00	2.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				21W	22W	23W	24W	25W	26W	27W	28W	29W	30W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	3000/1000	10.00	—	0.20	—	0.20	—	0.20	0.80	2.40	5.20	1.80
	COVID-19	—	—	2.80	2.00	4.60	3.60	5.00	6.20	15.20	35.00	44.20	26.80
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.00	1.33	2.33	2.33	2.33	6.67	4.67	3.00	8.67	8.67
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	5.67	5.67	7.00	4.67	2.67	0.67	1.33	—	1.00	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	17.67	19.33	11.00	11.67	12.67	15.00	5.33	9.67	5.33	2.67
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	2.33	4.00	4.33	3.67	2.67	3.67	2.00	7.67	3.00	1.33
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	6.33	5.33	2.33	5.00	5.00	6.00	9.67	8.33	5.67	5.67
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	0.33	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	—	1.00	0.33	0.33	—	0.33	0.33	1.00	0.67	0.33
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	1.00	0.33	—	1.00	0.67	0.33	0.67	2.67	1.67	0.67
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第30週においては、出水地域でのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が17週間ぶりに警報レベルの報告数を下回りました。手足口病の警報は川薩地域、出水地域共に続いています。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等はありませんでした。また、COVID-19報告者数も先週と比較すると減少しましたが、まだまだ注意が必要です。COVID-19に関してはアルコール消毒が有効ですので、施設内でアルコール消毒の設置がある場合は積極的に使用しましょう。一方、手足口病はアルコール消毒は効きにくいいため、手指については石けんと流水による手洗いと、おもちゃは次亜塩素酸ナトリウムによる消毒をしましょう。

7月22日～7月28日は肝臓週間です！



・垂直感染
・水平感染

肝臓週間とは...？

厚生労働省が定めた、7月28日(『日本肝炎デー』)を含む月曜日から日曜日までの1週間のことです。肝疾患について正しい知識の普及と予防の重要性についての意識を高めることを目的として、啓発活動に取り組むこととしています。

鹿児島県では、例年この週間に合わせて、肝炎や肝炎ウイルス検査について広く周知するとともに、県の保健所において、平日夜間にB型・C型肝炎ウイルス無料検査を実施しています。

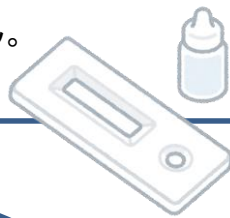
要予約 平日夜間の肝炎無料検査実施について

肝臓週間を中心に、通常の検査に加えて、平日夜間に検査を実施いたします。

川薩保健所 7月23日(火) 17:00
出水保健所 7月19日(金) 17:00

今年度は
終了いたしました！

※一度、検査を受けたことのある方は保健所で再度無料検査を受けることはできません。
※その他の保健所での検査予約については、次ページをご覧ください。



通常の検査も予約が必要です。
お早めにご連絡ください。

日常生活において周囲の人への
感染はほとんどありません。



●垂直感染(母子感染)

お産時に、母親のウイルスが血液を通して赤ちゃんに感染すること。

●水平感染

垂直感染以外の体液による感染。競技中の傷口への体液付着や口うつしでの食餌、性交渉や使い回しの注射針での感染も含みます。

水痘にご注意ください！

- ・空気感染
- ・飛沫感染
- ・接触感染

水痘とは...？

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルス(VZV)というウイルスにより引き起こされる、発疹性の病気です。日本では年間100万人程度が発症し、4000人が入院、20人程度が死亡していると推定されています。

主に小児の病気といわれていますが、成人でも発症する場合があります、水痘そのものが重症化するリスクが高いといわれています。

水痘ワクチンは1回の接種で重症の水痘を、2回目の接種で軽症の水痘も含め、その発症を**ほぼ100%予防可能**と考えられています。



接種対象年齢において、病気で定期接種を受けられなかった方などは、特例で定期接種を受けることができます。
※詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。



妊婦さんの感染は、流産や胎児に障害を引き起こす可能性があります、妊娠時はワクチンを接種することができません。
計画的に予防接種をしましょう。



原因病原体:水痘帯状疱疹ウイルス(VZV)

症状:発熱, 発疹(表面が赤くなる→水ぶくれができる→かさぶたになる)

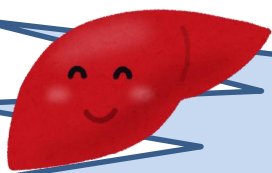
潜伏期:2週間程度(10日~21日)

流行時期:12月~7月(冬~春)

特徴:9歳以下での発症が90%を占める。成人の発症は重症化リスクが高い。

アルコール消毒効果あり!!!





B型、C型ウイルス性肝炎について
理解を深めましょう！

・血液感染
・垂直感染

ウイルス性肝炎

ウイルス性肝炎とは、A型、B型、C型、D型、E型などの肝炎ウイルス感染によって引き起こされる、肝臓の病気です。肝炎になると、肝臓の細胞が壊れ、肝臓の働きが悪くなります。感染してから数ヶ月のうちに身体からウイルスが排除され、その後に免疫ができる「一過性感染」と、長期にわたってウイルスが肝臓に住みついてしまう「持続感染」（「キャリア状態」とも呼ばれます）があります。

B型及びC型は主に血液を介して感染し、慢性の肝臓病を引き起こす原因になります。

原因病原体: B型肝炎ウイルス(HBV)、C型肝炎ウイルス(HCV)

症状: 全身倦怠感、食欲不振、悪心、嘔吐、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)

潜伏期: 数ヶ月～

特徴: 自覚症状がない場合も多く、献血や検診時に気づく場合もあります。



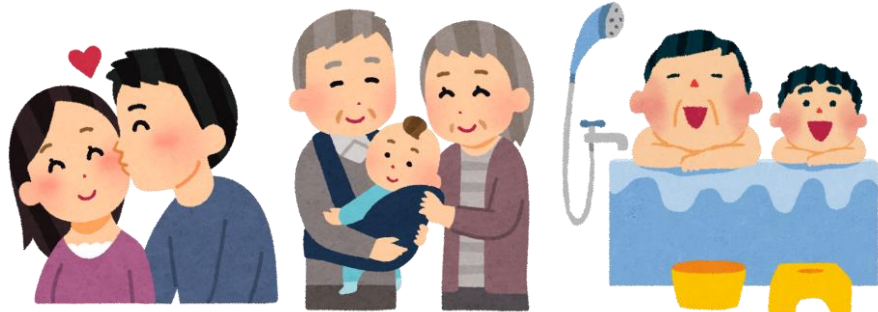
STOP

検査目的の献血は絶対に
やめてください。

献血における検査にも限界があります。
医療機関や保健所で検査をしましょう。

以下の行為では肝炎ウイルスは感染しません。

- ・握手する
- ・抱っこする
- ・隣に座る
- ・軽いキスをする
- ・一緒に入浴する
- ・同じ食器を共有する



※ごく常識的な注意事項を守っていれば、日常生活において周囲の人への感染はほとんどありません。

肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、重症化するまで自覚症状が現れない場合があります。

症状がなくてもきちんと検査し、早い発見と治療を続けることが大切です。



図表8-5-1 B型肝炎及びC型肝炎について

	B型肝炎	C型肝炎
原因ウイルス	B型肝炎ウイルス	C型肝炎ウイルス
病原体の発見	1968(昭和43)年	1988(昭和63)年
主な感染経路	血液感染等 (母子感染、家族内感染、医療行為、性感染等)	血液感染等 (大半は原因不明。血液製剤、医療行為等)
持続感染 (キャリア化)	<ul style="list-style-type: none"> ・2、3歳頃までに感染した場合は90%以上(最年長6歳頃まで)がキャリア化 ・成人の感染の場合は約1%(欧米型のウイルスでは10%程度)がキャリア化 ・キャリアの85~90%は無症状のまま経過 	<ul style="list-style-type: none"> ・約70%(年齢に関係なし)がキャリア化 ・自然経過では病状が徐々に進行し、多くは慢性肝炎を発症
キャリア数 ^{*1}	約110~140万人(推定)	約190~230万人(推定)
患者数 ^{*2}	約7万人(推定) (慢性肝炎 約5万人/ 肝硬変・肝がん 約2万人)	約37万人(推定) (慢性肝炎 約28万人/ 肝硬変・肝がん 約9万人)
治療法 (抗ウイルス療法)	<ul style="list-style-type: none"> ・インターフェロン治療(注射薬) 間接的に、ウイルスの増殖を抑え、肝炎を鎮静化させる。 ・核酸アナログ製剤(経口薬) ウイルスの増殖を強力に抑える。 →原則として、一生飲み続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターフェロン治療(注射薬) 間接的に、ウイルスの増殖を抑え、ウイルスを排除させる。 ・インターフェロンフリー治療(経口薬) 直接的に、ウイルスの増殖を強力に抑え、ウイルスを排除させる。 →12週間~24週間で飲みきり。
ウイルスの完全排除(治癒)	不可	可
ワクチン	あり	なし

※1 平成16年度厚生労働科学研究費補助金肝炎等克服緊急対策研究事業報告書(古澤班)より推計。

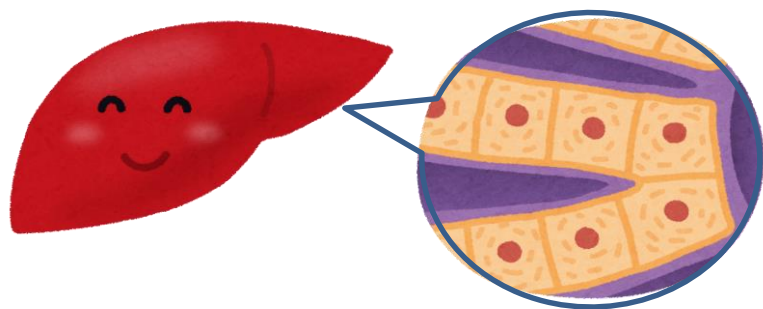
※2 患者数は、平成20年患者調査より推計。

ウイルス性肝炎は治療をしなければ肝硬変や肝がんといった重篤な病態に進行する可能性のある病気です。鹿児島県では、B型及びC型ウイルス性肝炎に対する治療費の一部助成を行っています。

(対象者)

- ・鹿児島県に住所を有していること
- ・C型ウイルス性肝炎の根治を目的として行われるインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びにB型ウイルス肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療で保険適用となる治療を受けている(受ける予定である)こと
- ・医療(健康)保険に加入していること

肝炎治療認定審査会で適当と認められた方を助成対象患者と認定し、受給者証を交付いたしますので、医療費の助成申請を行う際は医師と十分にご相談ください。





8月4日は「はしかの日」です！

はしか(麻しん)とは...？



- ・空気感染
- ・飛沫感染
- ・接触感染

麻疹ウイルスによる急性の全身感染症です。肺炎や中耳炎を合併しやすく、患者の1000人に1人の割合で脳炎が発症するといわれています。空気感染をするのでマスクでは感染を防ぐことができません。麻しんの感染力は非常に強く、免疫を持っていない方が感染すると100%発症します。一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われ、予防接種がかなり有効ですので、定期接種は早めに確実に受け、2回接種していない方はかかりつけ医などの相談の上、接種を検討しましょう。

原因病原体: 麻しんウイルス

症状: 感冒症状(継続する発熱, 咳, 鼻水) → 39℃以上の高熱, 発疹

潜伏期: 10~12日

特徴: 感染力が非常に高く, 免疫のない方が感染すると100%発症する

鹿児島県子ども予防接種週間

「鹿児島県子ども予防接種週間」とは、保護者をはじめとした県民の予防接種に関する関心を高め、予防接種率の向上を図ることも目的として定められたものです。今年は、8月4日を「はしかの日」とし、同日含む8月1日～8月8日の8日間を実施期間としました。

この週間を機に、予防接種歴を見直し、必要だと判断したものについては接種を検討しましょう。

平成9年度生まれ～平成19年度生まれの女性の方へ (1997年4月2日～2008年4月1日)

平成25年～令和3年のHPVワクチンの接種を個別に推奨する取組が差し控えられていた間に公費での接種を逃した方がいらっしゃいます。こうした方に公平な接種機会を確保する観点から、改めて公費での接種の機会を提供しています。

●対象者

下記2つを満たす方

- ・平成9年度生まれ～平成19年度生まれの女性
- ・接種を過去にHPVワクチンの接種を合計3回接種していない方
(過去に1回もしくは2回接種した方含む)

●公費による接種可能期間

令和7(2025)年3月まで





ワクチンで防げる病気があります



鹿児島県 こども予防接種週間



8月1日(木)～8月8日(木)

8月4日は **はしかの日**

麻しん風しん混合(MR)ワクチン予防接種対象者

- | | | |
|----|---|------------------------|
| 1期 | … | 1歳の子ども |
| 2期 | … | 今年度6歳になる者
小学校就学前1年間 |

【定期予防接種】

MR (麻しん風しん混合)

五種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・Hib)
BCG・日本脳炎・Hib・小児用肺炎球菌
水痘・B型肝炎・ロタウイルス・HPV等

はしか、風しん、結核、
急性胃腸炎、肺炎、水ぼうそう
などの疾病を予防します。

厚生労働省HP「予防接種情報」→



【任意予防接種】おたふくかぜ など

- 予防接種希望者は、必ず事前に予約をしてから医療機関を受診してください。
- 定期予防接種を受ける際は、市町村より届いた説明書等を必ずお読みの上、お越してください。
- 母子手帳と予防接種予診票を必ずご持参ください。



HPV「キャッチアップ接種」

2025年3月まで

平成9～19年度生まれの女性対象

- ・ HPVワクチンは、子宮頸がん等の原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染を予防するためのワクチンです。
- ・ 平成9～19年度生まれの女性で、HPVワクチンの3回の接種が完了していない方を対象に、令和7年3月まで「キャッチアップ接種」として公費での接種機会が提供されています。
- ・ HPVワクチンの接種は合計3回（※）で、完了するまでに約6か月かかることから、公費で3回の接種を完了するためには、**令和6年9月までに1回目の接種を行う**必要があります。

※15歳未満の方はスケジュールが異なります。厚生労働省HP「HPV」→



主催：鹿児島県医師会・鹿児島県小児科医会・鹿児島県

後援：鹿児島県教育委員会・鹿児島県保育連合会・鹿児島市保育園協会・鹿児島県私立幼稚園協会

全国認定こども園協会 鹿児島県支部・認定こども園連盟 鹿児島県支部